

# 海上の森の自然ノート

海上の森の動植物の  
生き字引

山本 征弘

## No. 1

### すみれ

「山地来て何やらゆかしすみれ草」と俳句にも詠まれ昔から親しまれてきました。春、海上の森を歩くと様々なすみれを見かけます。代表的なすみれをご紹介します。



1 : アオイスミレ



2 : ニオイタチツボスミレ



3 : マキノスミレ

- ① アオイスミレは春一番に咲き、花の色は薄紫です。葉が葵に似ているのでこの名が付けました。センターより赤池へ向かう道や四ッ沢の奥の道にあります。
- ② ニオイタチツボスミレは山地では一番多く、赤紫の花を3月中旬頃から咲かせます。最盛期の花を嗅ぐと良い匂いがします。四ッ沢より里に向かう道の土手に沢山咲いています。
- ③ マキノスミレは山地で咲き花は濃い赤紫です。葉の裏が紫色をした「紫背すみれ」の仲間です。日当たりの良い林道で良く見かけ、3月中旬頃から咲き始めます。



4 : ツボスミレ



5 : マルバスマイレ



6 : フモトスミレ

- ④ ツボスミレは一番多いすみれで白に紫の模様が入った花を4月中旬頃から咲かせ、遅い年では6月初旬まで咲いています。田の畔など少し湿った平地でたくさん見かけます。
- ⑤ マルバスマイレは白い大きな花を4月下旬頃から咲かせます。丸い大きな葉が特徴です。海上砂防池の先の5差路より篠田池へ向かう道沿いに群生地があります。
- ⑥ フモトスミレはツボスミレに似た花を4月上旬より咲かせます。斑入りの葉が特徴です。少し日陰の林道で良く見かけます。小さな株が多いので踏みつけそうになります。

